

Yokogawa DX説明会

～ DX戦略の概要と進捗状況～

船生 幸宏

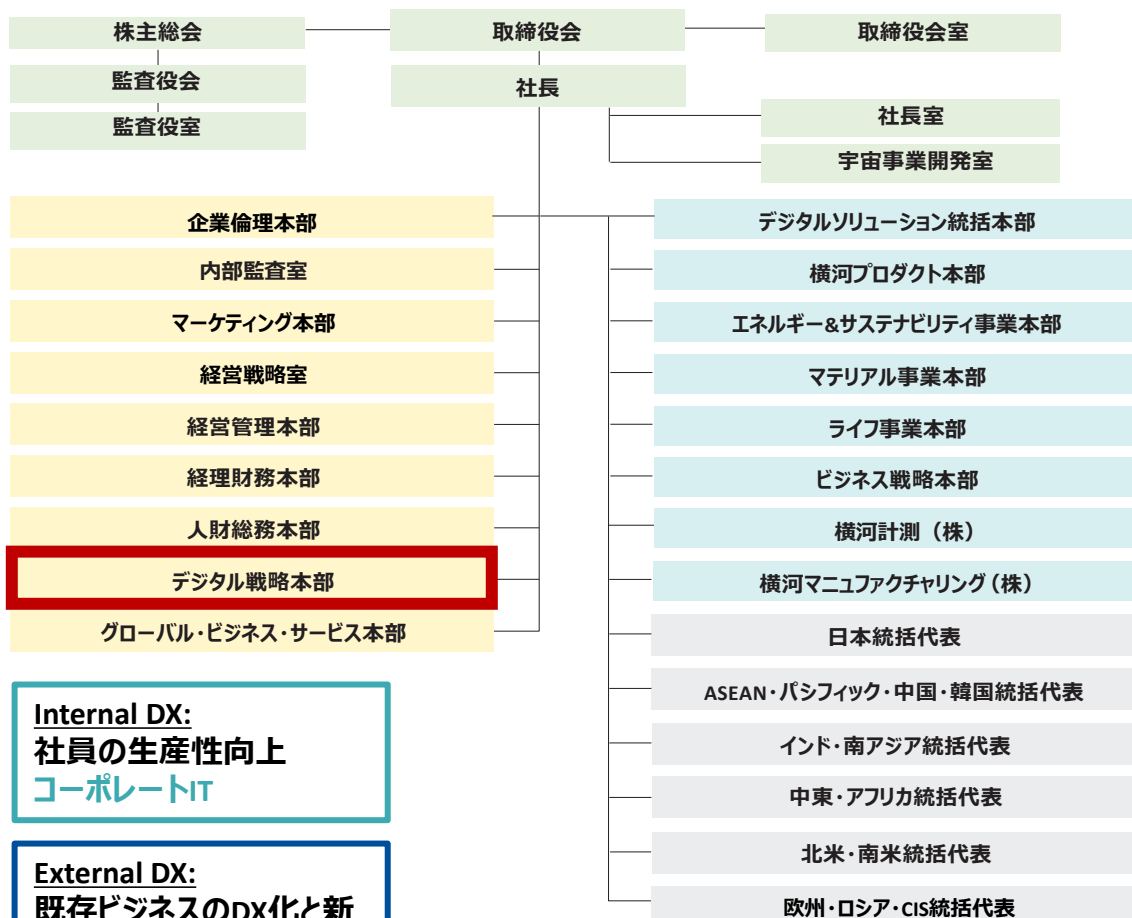
横河電機株式会社

執行役常務(CIO) デジタル戦略本部長

2024年12月6日

証券コード：6841
横河電機株式会社

当社のDX組織と自己紹介



Internal DX:
社員の生産性向上
コーポレートIT

External DX:
既存ビジネスのDX化と新規DXビジネスの創出
ビジネスIT

■ 現在の役割 :

- ・ 執行役常務 (CIO)
- ・ デジタル戦略本部長 **Internal DX** **External DX**
- ・ 横河デジタル (株) 取締役 **External DX**



■ 主な経歴 :

1990 – 2000	NTT Data @Tokyo (10年)
2000 – 2003	Softbank Finance (現SBI) @Tokyo (3年) IT子会社のCIOも経験
2003 – 2018	Sony @Global (15年) Global IT Planning @HQ (6年) Pan Asia IT Planning @Singapore (4年) Global IT Transformation @HQ (1年) Global IT Strategy @HQ (4年)
2018 –	横河電機 @Tokyo (6年) デジタル戦略本部

■ モットー :

- ・ **ITとOTの融合**

Today's Agenda :

1. DX 戦略概要（昨年のDX戦略説明会の振り返り含む）

2. Internal DX 施策状況

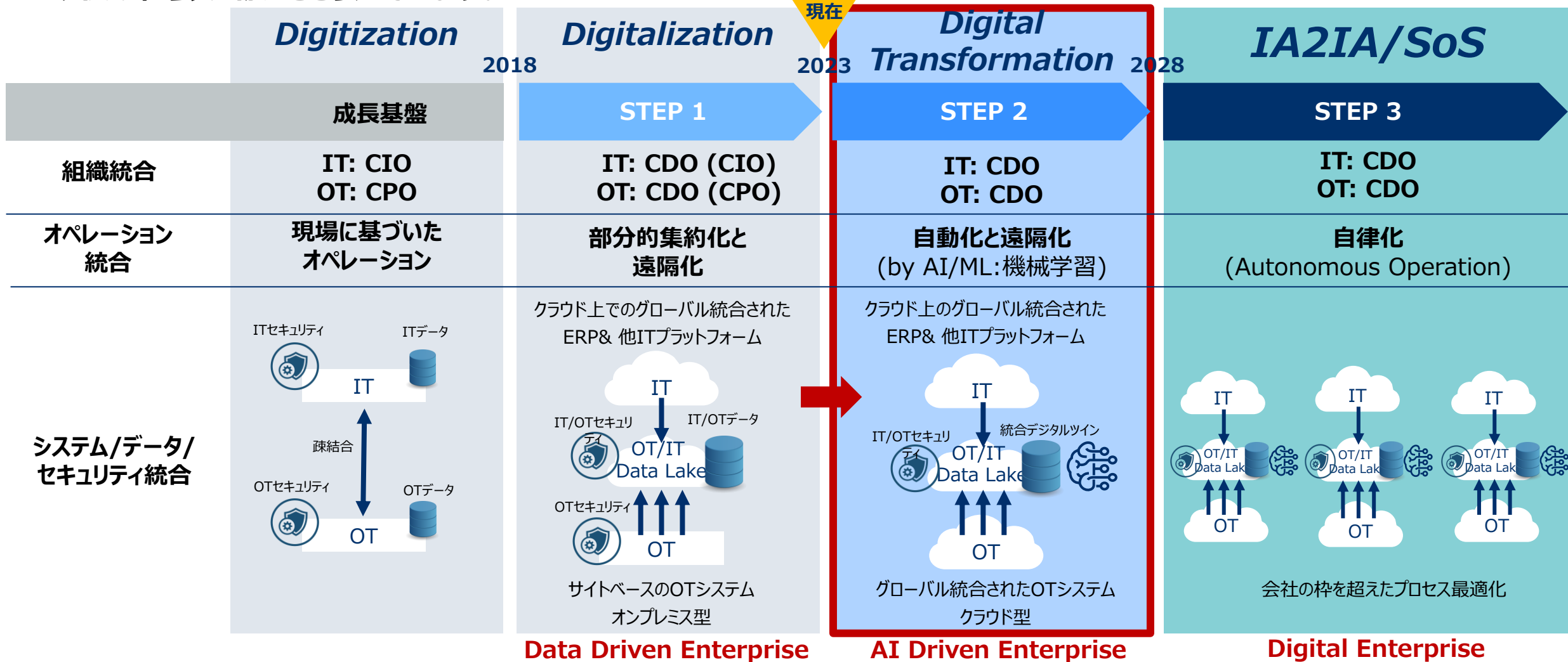
3. External DX 施策状況

1. DX 戦略概要 (昨年のDX説明会の振り返り含む)

製造業の自律化に向けた取り組み (Internal DX/External DX)

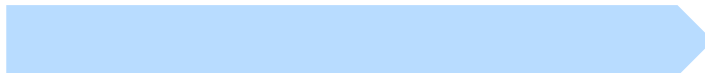
Recap

YOKOGAWAは、一つのシステムでは実現できない目的をシステム全体として達成するシステム・オブ・システムズ (SoS) を今後の社会の潮流ととらえています。
 ※詳細説明は、AI Driven Enterprise アプローチ(P.19-21)を参照下さい



YOKOGAWAのDX/IT戦略の方向性 (Internal DX)

2018 **Globalization Ready**



Transformation 2020

IT Globalization
for Silo Breaking



**ビジネス
変革:**

- サイロ・個別最適の打破



**DX/IT
戦略:**

- グローバル最適化
- デジタル化 / サービス化
- セキュリティ強化



IT変革:

- ITトランスフォーメーション

2021 **AI Ready**



Accelerate Growth 2023

Data Integration
by Global Platforming



- グローバルなビジネスプロセス標準化
- グローバルデータ統合



- アプリケーション・データの簡素化
- レジリエントなインフラとゼロトラストセキュリティ
- アジャイル化のためのインターナルDX推進



- IT組織をビジネス組織の様に運営する



2024 **Future Ready**



AI Adoption
for Digital Enterprise



- 飛躍的な生産性向上に向けた
AI Driven Enterpriseの実現



- グローバルプラットフォーム化の完了
- インフラ・セキュリティのAIベースオペレーション
- AIドリブンなインターナルDX推進



- AIドリブンIT



DX関連KPI 前中期経営計画 AG2023

更なる強化領域

①DX関連受注比率：

2020年度 2.0%
2021年度 2.8%
2022年度 3.5%

2023年度 3.3% (目標 4.0%)

②デジタルプロセス率：

2020年度 40%
2021年度 42%
2022年度 63%

2023年度 70% (目標 63%)

③ITインフラ環境負荷削減率：

2020年度 100%
2021年度 74%
2022年度 57%

2023年度 57% (目標 65%)

④クラウド化率：

2020年度 61%
2021年度 61%
2022年度 75%

2023年度 77% (目標64%)

⑤アジャイルプロジェクト率：

2020年度 19%
2021年度 54%
2022年度 62%

2023年度 77% (目標35%)

⑥DX人財比率：

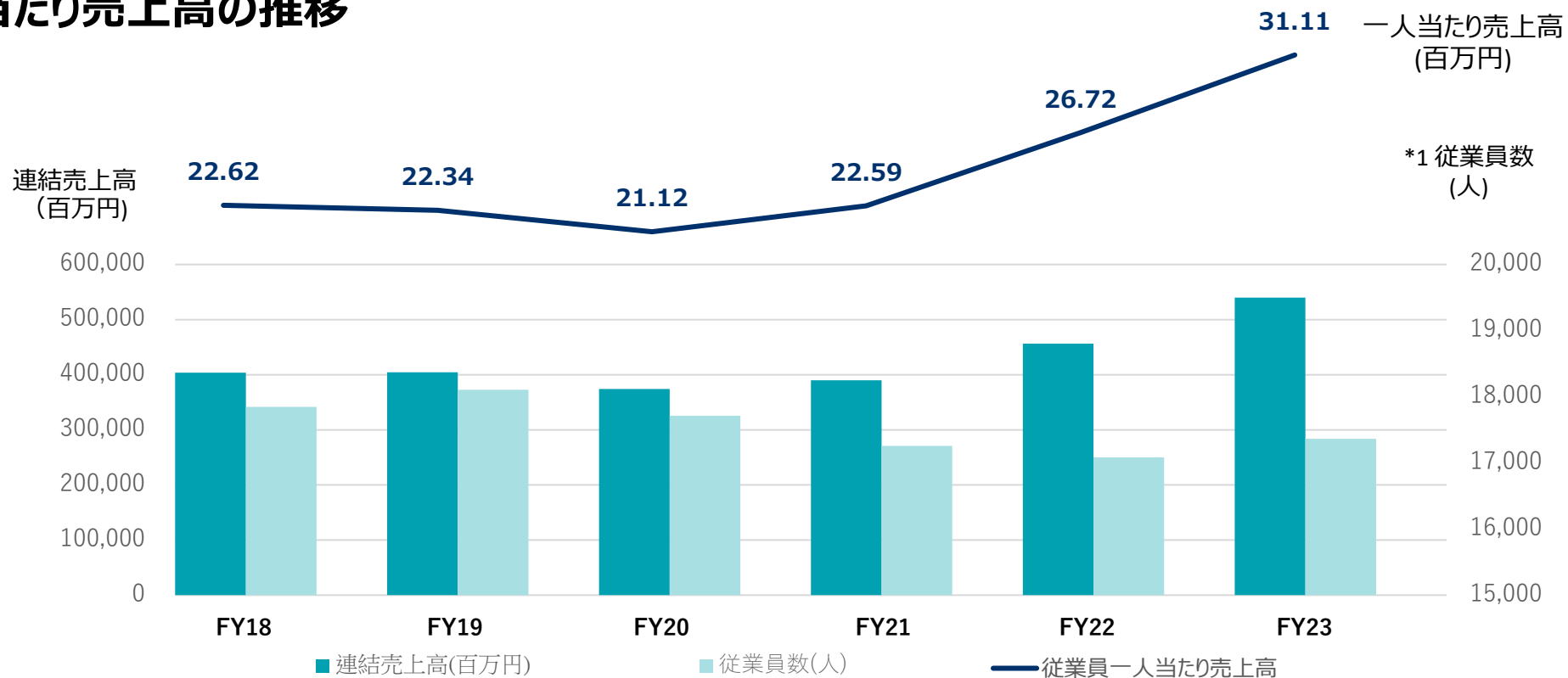
2020年度 20%
2021年度 31%
2022年度 40%

2023年度 56% (目標50%)

- ①DX関連受注比率：全受注額に対するデジタル技術を活用したプロジェクト受注の割合
- ②デジタルプロセス率：すべての業務プロセス毎に定義したプロセス数に対し、グローバルプラットフォームによりデジタル化されたプロセスの割合
- ③ITインフラ環境負荷削減率：2018年度を基準として、クラウド化により削減出来た想定電力消費量の割合
- ④クラウド化率：現在利用しているサーバー数に対するクラウド上で展開しているサーバー数の割合
- ⑤アジャイルプロジェクト率：すべてのITプロジェクト数に対するアジャイルアプローチを活用しているITプロジェクトの割合
- ⑥DX人財比率：すべてのIT人財数に対するデジタル技術を有している人財数の割合

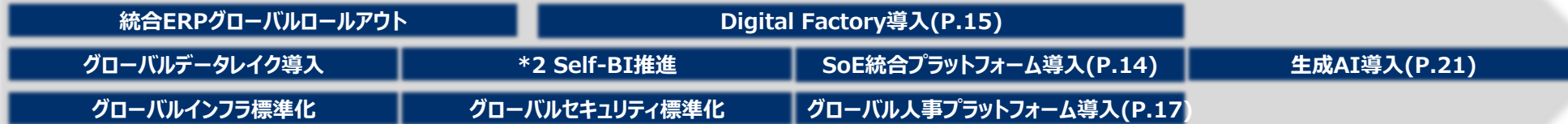
当社生産性向上の状況

一人当たり売上高の推移



*1 従業員数は、就業人員を記載しています。(契約社員、派遣社員等を除く)

主なInternal DXの取り組み



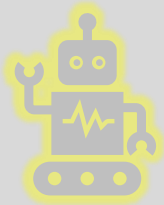
*2 Self-BI : IT分野の専門家でないビジネス部門のユーザーが、自身で利用するBIレポート/ダッシュボードを作成し活用すること

FY18-FY23 6年間実績

業務自動化案件数
総計

400

件以上



業務時間削減
総計

131,000

時間(820人/月)
以上



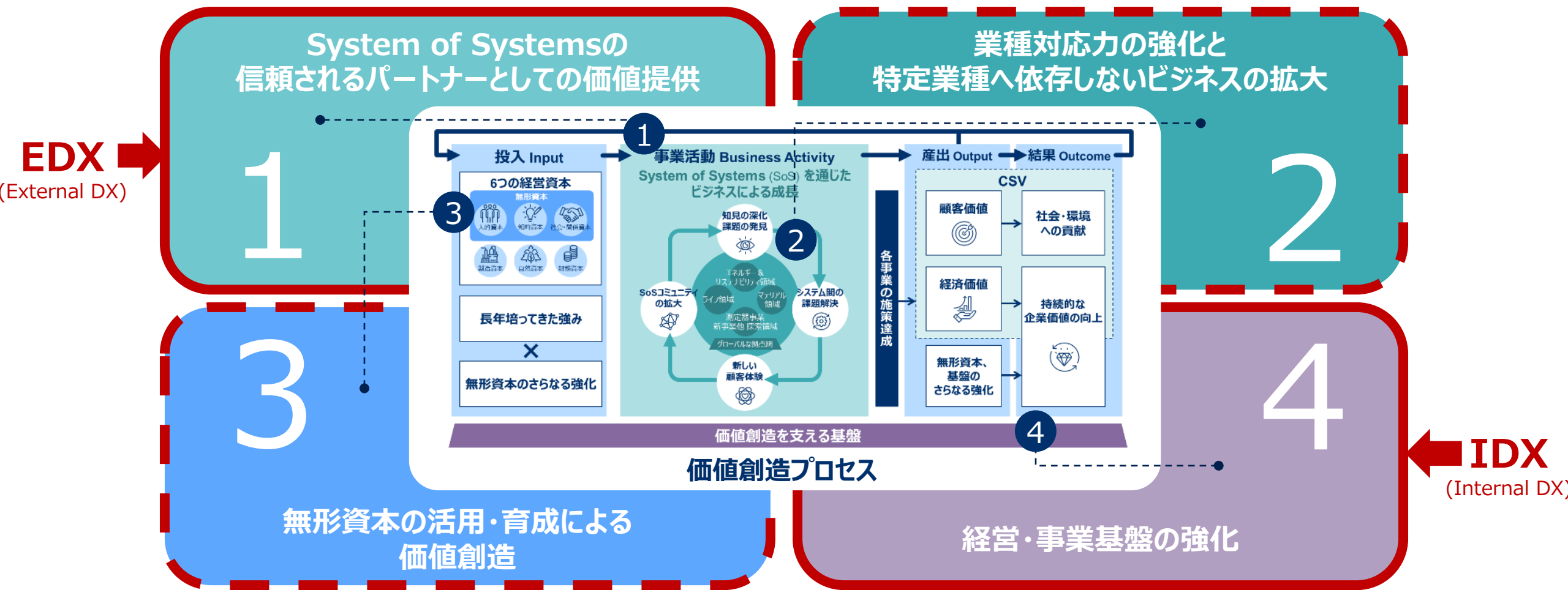
21

のグループ会社で実施
(13ヶ国)



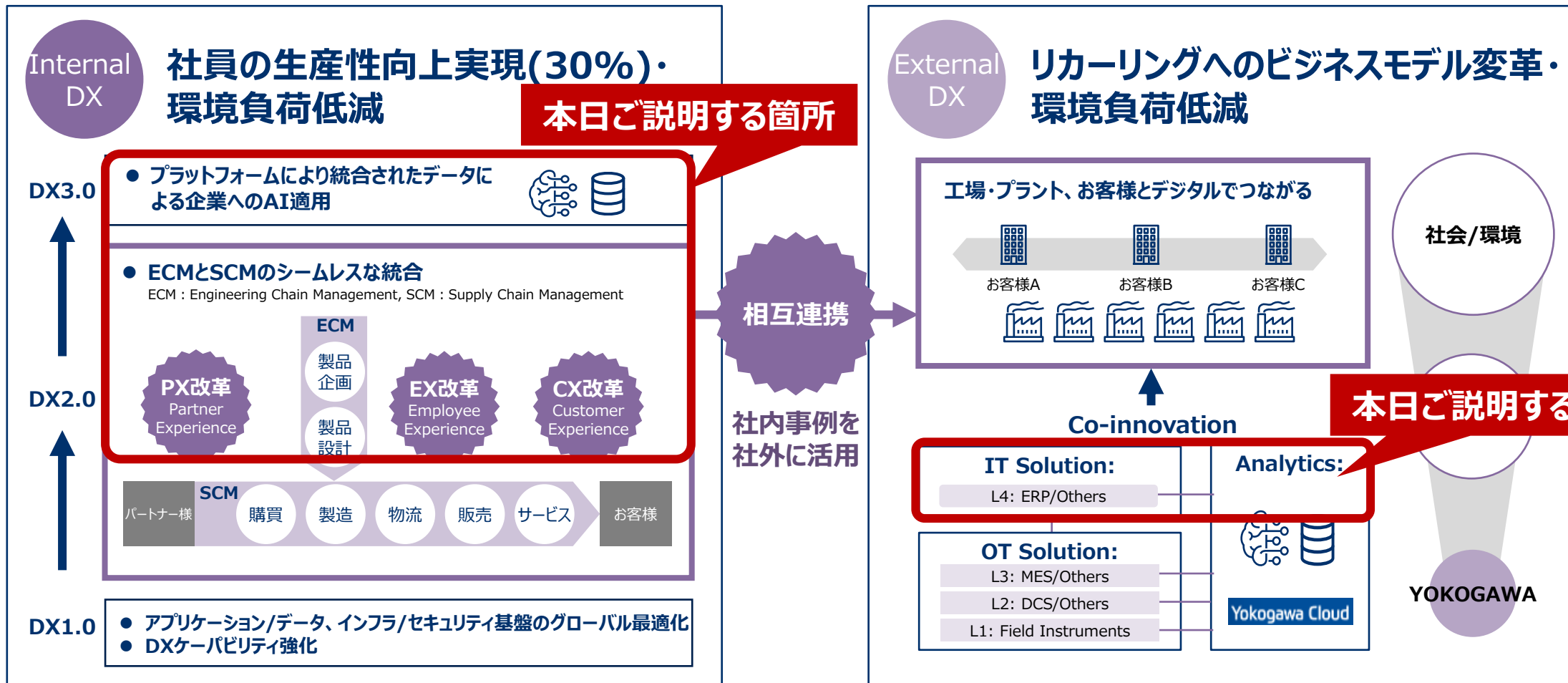
価値創造プロセスを実現するための基本戦略（中期経営計画 GS2028）

Growth for Sustainability 2028



当社のDX戦略 (GS2028)

DX戦略



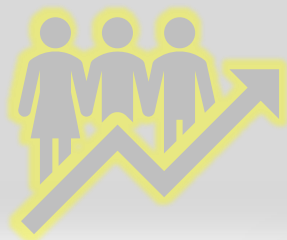
2. Internal DX推進状況

DX戦略を通じて目指すKPI (Internal DX)

DX戦略推進を通じて、 確実にポジティブな経営インパクトを創出していく

Internal DX : 社内生産性向上

FY28: FY24比30%生産性向上



External DX : 受注・売上拡大

FY28: L3&L4受注/全受注 20%以上



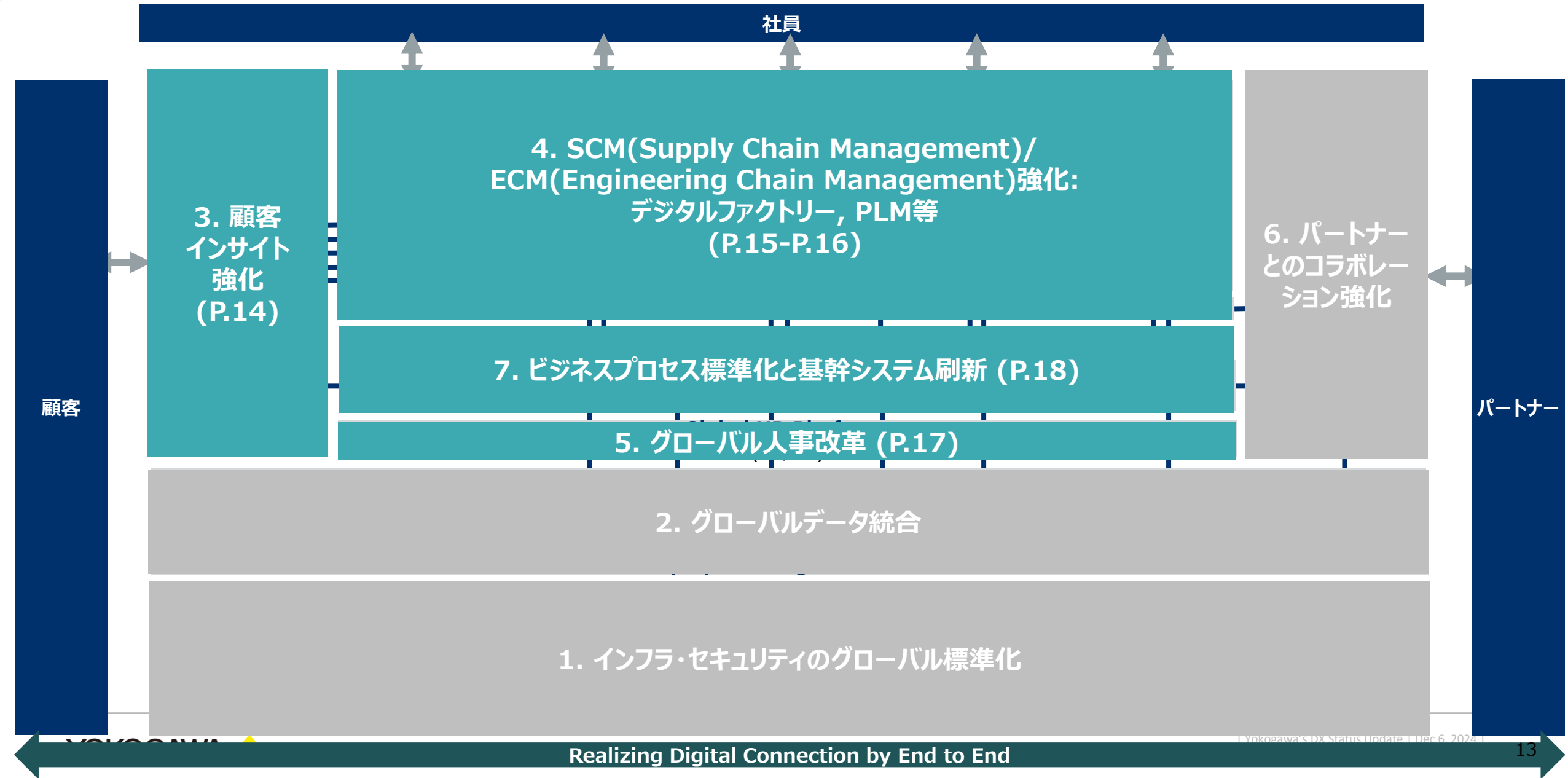
DX能力向上

FY28:DX研修の受講率80% (レベル1/2)

50% (レベル3)



Internal DXの施策概要

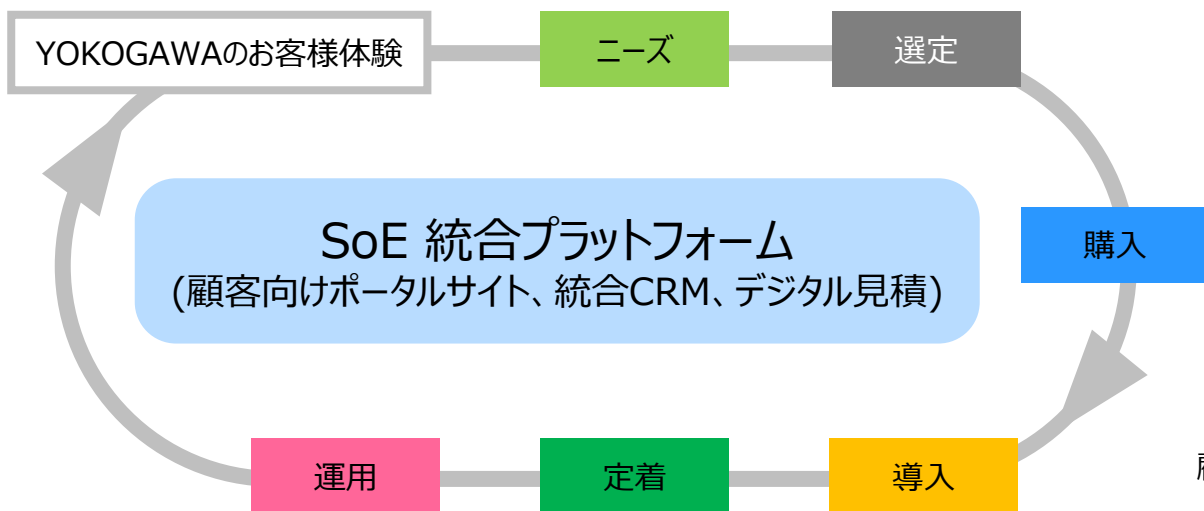


顧客インサイト強化（施策③）： SoE (System of Engagement Program)の推進状況

施策概要

お客様との取引前の段階から取引後のサポートに至るまでの一連のプロセスにおいて顧客に価値を提供する統合プラットフォームを実現

YOKOGAWA's Customer Journey:



SoE : System of Engagement

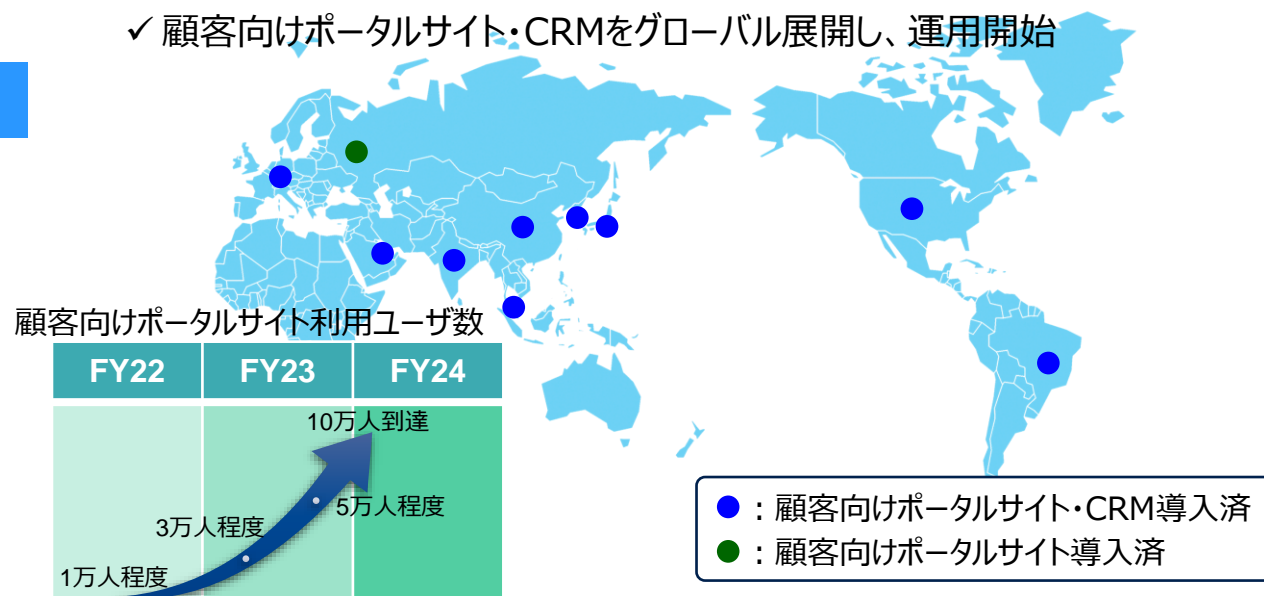
期待されるビジネス効果

お客様とのデジタル接点の強化

- ✓ お客様、パートナー、社員への総合的なエクスペリエンスの向上
- ✓ 見込顧客・受注・売上の増加、業務効率化 (FY20比)
 - ✓ 見込顧客増： 10%以上 (FY25)
 - ✓ 受注増： 約数% (FY25)
 - ✓ 営業マーケティング業務効率化： 10%以上 (FY25)

現在の進捗状況

- ✓ 顧客向けポータルサイト・CRMをグローバル展開し、運用開始



SCM/ECM強化(施策④) : Digital Factory Programの推進状況

施策概要

グローバル工場をデータ駆動型工場に変革する3つの施策を実践

- ✓ グローバルデータプラットフォームである**OT Data Lake**の構築と活用
- ✓ 生産プロセス、工場運用業務における**AI/MLを活用**した自動化と最適化
- ✓ **Digital Twin**を活用した生産工場のリモートオペレーション

Internal DXで培った知識、ノウハウを積極的に発信し、YOKOGAWAのDXプレゼンスを高め、お客様に付加価値を提供する。

グローバルオペレーションデータ連携状況

- ✓ ユースケース実装毎にOT Data Lake必要なデータを蓄積する事でデータ活用プラットフォームが成長・進化中
- ✓ データ再利用によるユースケース拡張、開発期間短縮など効率化を確認
- ✓ IT/OTデータの積極的連携によりエネルギー管理/カーボン管理などサステナブル領域を拡大中
- ✓ 生成AIなどの技術を活用し、ユースケースの価値向上を推進
- ✓ 3次元空間を用いたDigital Twinの新しいユースケースを開発中

期待されるビジネス効果

データ駆動型工場オペレーションの実現

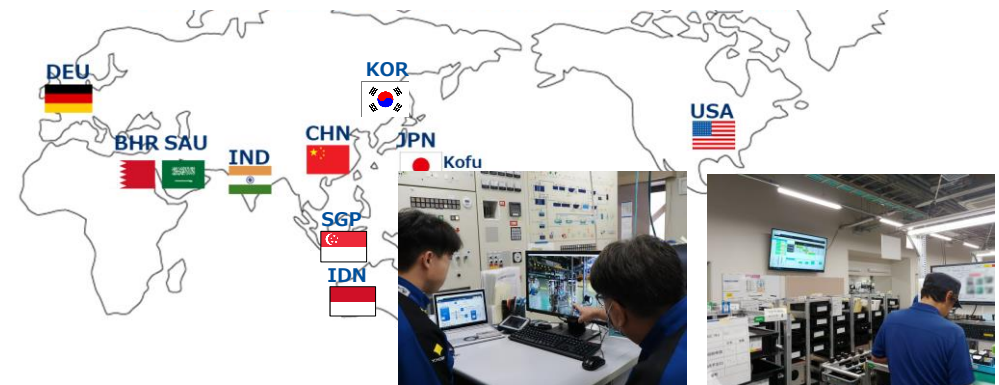
■ サプライチェーン最適化

- ✓ ビジネス戦略と生産戦略の連携
- ✓ 営業・生産・物流領域を総合的な視点で最適化を実現する活動を組織横断で展開。
- ✓ システム、運用の2面アプローチ。

■ エネルギー/カーボンマネジメント強化

- ✓ IIoTデータ活用によるエネルギー(電力、ガス)、工場系ユーティリティ(蒸気など)の監視及び最適運用
- ✓ 自社工場他プロセスへの水平展開
- ✓ Internal DXでの経験・ノウハウをお客様向けソリューションとしてR&Dとの共同開発

グローバル12か国、16工場のうち、10か国、13工場と連携・連携準備中



SCM/ECM強化：製造DXパートナーシップサービス by 横河デジタル



YOKOGAWA
Yokogawa Digital Corporation

DX 構想フェーズ | DX 構築フェーズ | DX 運用フェーズ

製造DXパートナーシップサービス
~構想フェーズサービス~

製造DXパートナーシップサービスの特長

- 経験豊かな製造DXのプロ
自ら体験した実践知に基づく支援
- シームレスな支援体制
DXプロセスをシームレスに支援
- 実現イメージを体感可能
製造DX実現工場視察、推進プログラムなど

お客様の新しい価値創造と競争力強化実現に向けた活動をDXのすべてのプロセスを通して伴走・支援いたします

製造DX実現工場視察・推進プログラム

製造DXを実現した工場を視察いただき、変革のプロセス・製造DX実現のイメージを共有いただけます

甲府ショールーム (TC棟1F)

視察工場での体感が可能
ショールーム内の豊富な設備と最新の設備を備えているため、お客様がすぐさま製造DXのイメージを体感いただけます。

課題 → 価値
やるべきこと → マインドチェンジ → やりたいこと

横河マニファクチャリングは、2014年からの母体の取組も踏襲し当社が独自の歩調に合わせ、「やりたいこと」に変えて、デジタル技術を活用することで実現出来ることを示し、業務の変革と組織全体のマインドチェンジを促してきました。

記載されている製品名は横河デジタル株式会社および各社の登録商標または商標です。

横河デジタル株式会社
〒180-8756 東京都武蔵野市中町2-4-32 (南有明ビル内)
TEL: 03-6342-1111 FAX: 03-6342-1112
〒181-8551 東京都調布区元町2-1-7 各都庁タワー4F
TEL: 03-6342-1111 FAX: 03-6342-1112

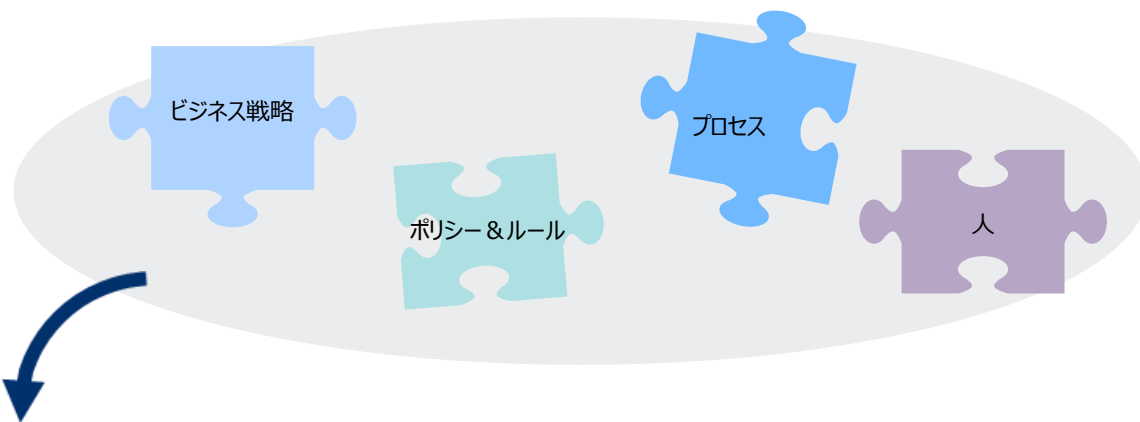
YOKOGAWA Yokogawa Digital Corporation

DX 注目企業 2022
Digital Transformation

工場見学会数:
2023年4月～2024年9月
300件
(甲府・駒ヶ根・小峰)

EX改革(施策⑤) : Global HR Transformation Programの推進状況

施策概要



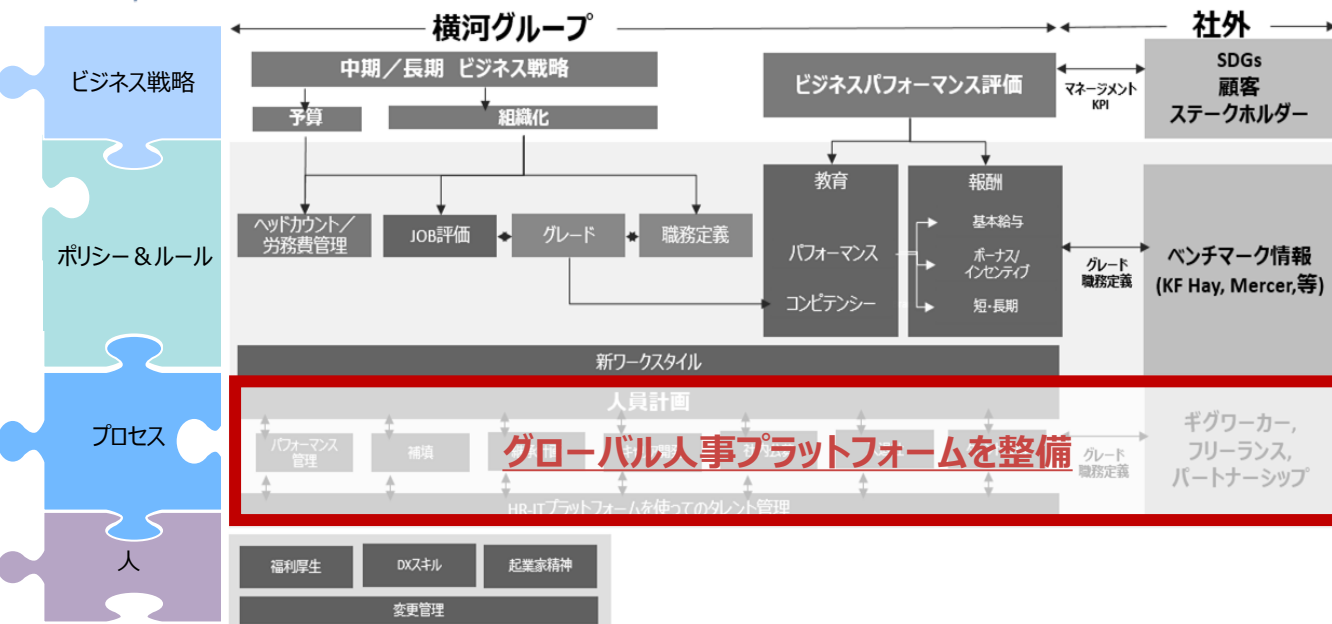
期待されるビジネス効果

事業戦略に沿ったグローバル人事の確立

- ✓ HRルール・プロセスのグローバル標準化による組織のグローバル化
- ✓ 「人財」の質と量を可視化し、戦略的人事施策を策定できるケーパビリティの確立
- ✓ HRプロセスのデジタル化による効率化
- ✓ 社員のマインドセット・カルチャー変革

現在の進捗状況

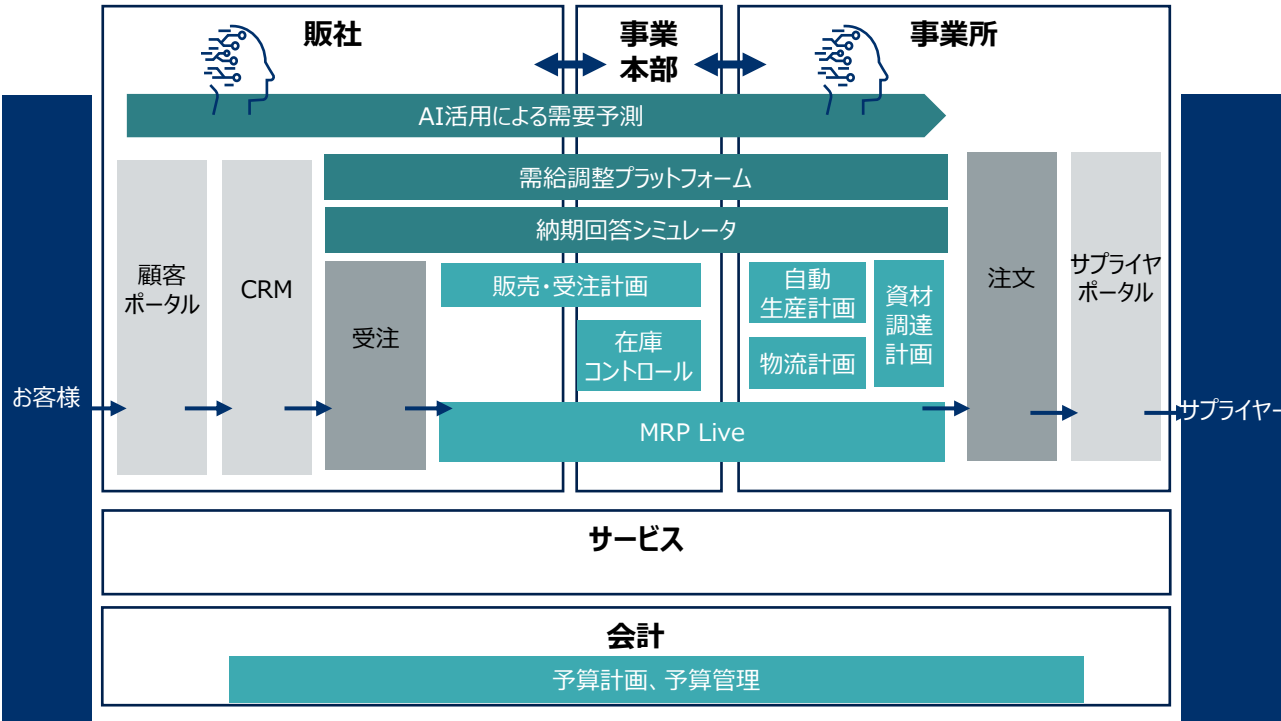
- ✓ HRルール・プロセスのグローバル標準化（グローバルグレーディング導入・ジョブ型導入・ジョブディスクリプションの標準化）を推進中。本社は導入完了、各リージョンはFY24中に完了予定
- ✓ グローバル人事プラットフォームの主要機能であるワークフォースマネジメントおよびタレントマネジメント機能の導入完了
- ✓ 人事施策の実効性を上げるため、人財データの充実化および人事プラットフォームの利活用の推進を行う予定
- ✓ マインドセット・カルチャー変革へつなげるため、人事プラットフォーム（Cloud service）が持つAIおよび機械学習を活用を企画中



EX改革(施策⑦) : Next ERP Programの推進状況

施策概要

お客様やサプライヤーとデジタルにつながることで、サプライチェーン全体の自動化・自律化を実現する。不確実性が拡大し将来予測が難しい外部環境下において、レジリエント(強靱)で持続可能(サステナブル)なサプライチェーンを構築する。



期待されるビジネス効果

リアルタイム・グローバルなデータドリブン経営の実現

- ✓ 顧客・サプライヤー・従業員がつながるEnd to Endのプロセスインテグレーションの実現による生産性向上
- ✓ YOKOGAWA固有プロセスの最適化、現SAPアドオンの削減 (▲80%) によるSAP関連コストの削減
- ✓ グローバルなプロセスガバナンス強化によるグローバルな企業構造を実装
- ✓ 環境経営に貢献するサステナビリティ経営の実現

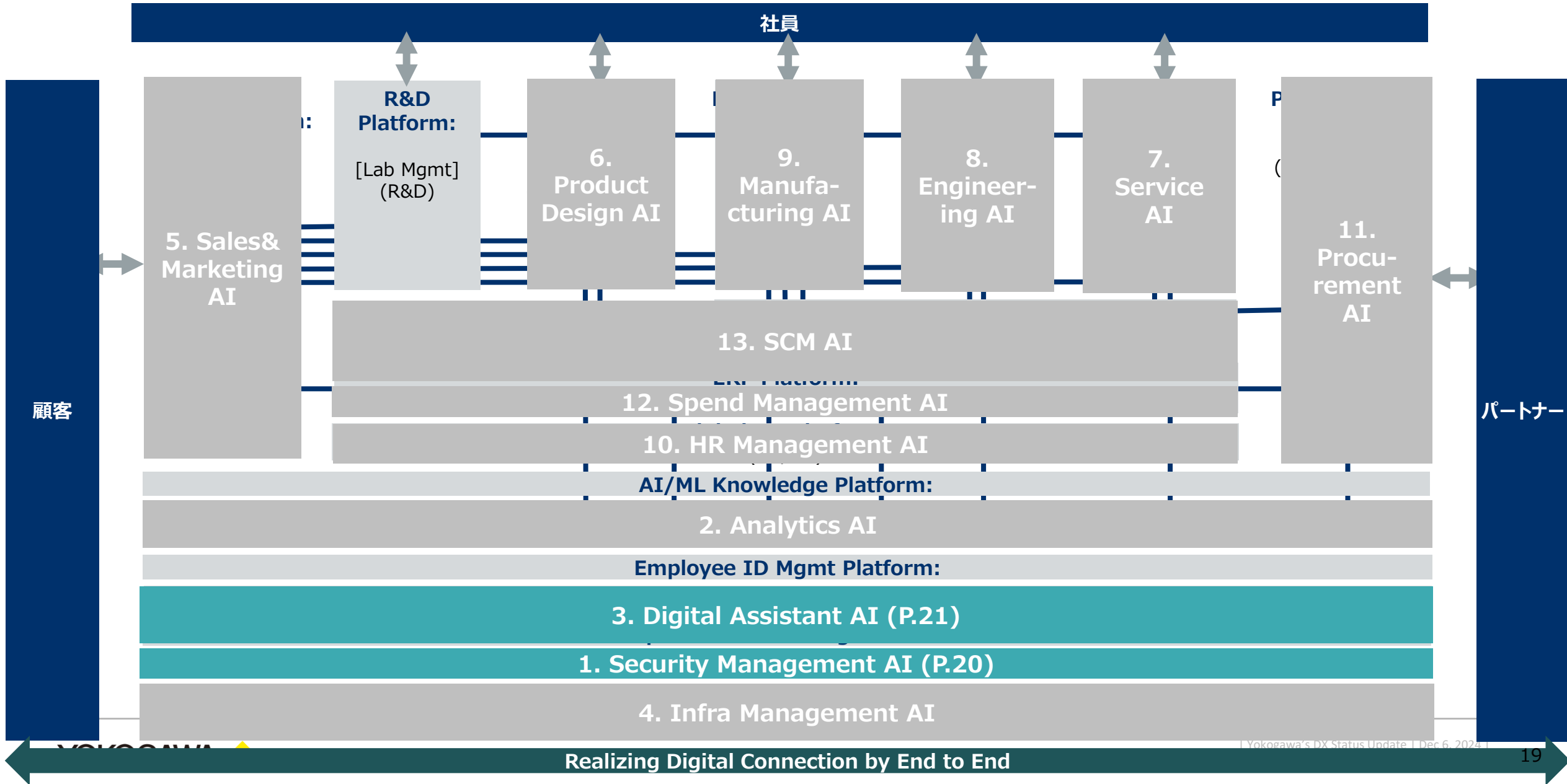
現在の進捗状況

Program マスタースケジュール



- ✓ 計画に沿って、各タスクが進行中
- ✓ 2026年1H、稼働開始予定

AI Driven Enterprise アプローチ



Security Management AI(施策①)セキュリティ領域におけるAI適用事例

セキュリティ監視全体像 (Yokogawa-Security Operation Center)

- ✓ イベント数 : 5-6億件/day
- ✓ ログ容量 : 200-300GB/day



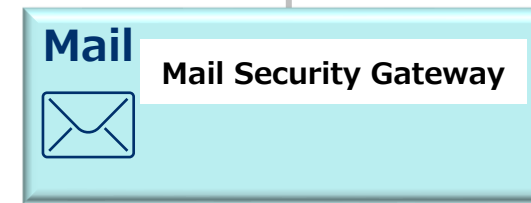
AIによる
自動検知と
アラート通知
SIEM*

チケット自動連携



ServiceNow(チケット管理システム)

アセット情報・脆弱性情報連携



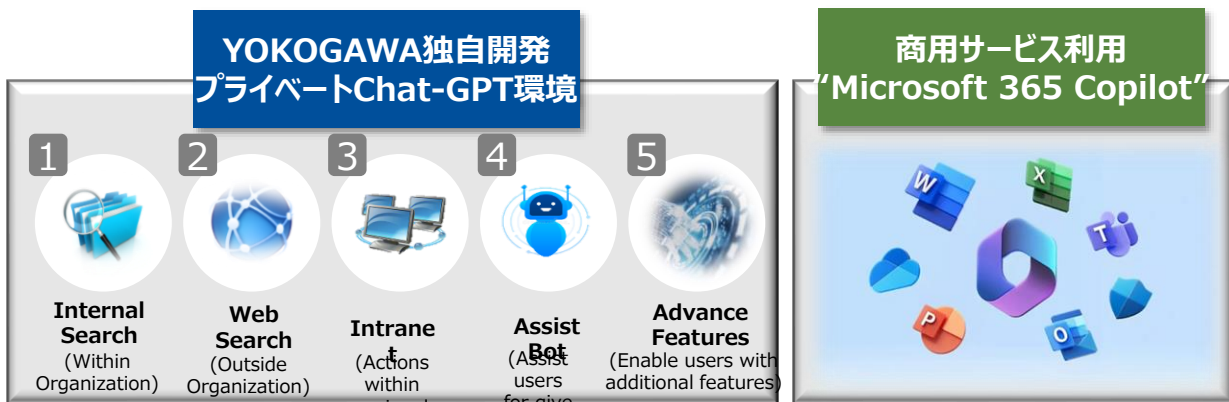
不審通信検知情報を活用し、侵害の痕跡からAI活用による自動遮断対応 (自動化率50%程度)

当該プラットフォームをFY22から外販開始

* SIEM : Security Information and Event Management セキュリティ情報とイベント管理

Digital Assistant AI (施策③) 生成AIを活用したAIプラットフォーム整備

生成AI活用 概要



#	活動概要	2024/1Q	2024/2Q	2024/3Q	2024/4Q	2025/1Q
1-1	プライベートChat-GPT環境開発・テスト	→			▲ Go-live	
1-2	初期運用 (ユーザサポート強化)			→		
1-3	ビジネスケース/ユースケースの吸上げ&評価			→		
2-1	Copilot啓発活動としての利用教育	→				
2-2	先行ユーザによる社内実証利用		→			
2-3	全社展開準備(計画立案)			→		
2-4	全社展開拡大				→	

期待されるビジネス効果

AIを業務に組み込み、生産性向上に貢献

- 会議での議事録作成、翻訳、レポート作成、データ分析等、社員の業務シーンに生成AIを適用し、30%生産性向上に期す
- 生成AIを活用した運転管理や生産の最適化ソリューションを通じて、設備の故障予測や保全管理、サプライチェーンの最適化を実現する
- エネルギー管理や連続排出ガス監視システム、SOP（標準操作手順書）の自動化などの分野で生成AIを活用し、エネルギーの効率的な利用や環境負荷の低減を目指す

現在の進捗状況

- **プライベートChat-GPT環境を構築、FY24 9月末に全社展開、**利用者などからビジネスニーズを吸い上げ、有効な機能を随時追加する予定
- **Microsoft 365 CopilotのFY25の全社展開に向けて、**社内実証(1000人程度)や各国のIT部門メンバーに教育等をFY24内で展開中
- プライベートChat-GPT環境、Microsoft 365 Copilotともに、**ユーザーアクセス管理が制御され、入力されたデータはプライベート環境内に留まり、AIモデルのトレーニングや改善に活用されることなく、十分なセキュリティを担保**

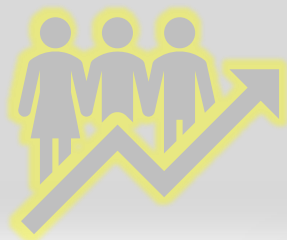
3. External DX推進状況

DX戦略を通じて目指すもの KPI (External DX)

DX戦略推進を通じて、 確実にポジティブな経営インパクトを創出していく

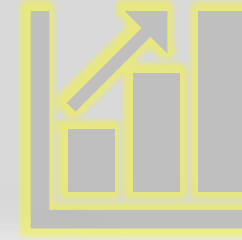
Internal DX : 社内生産性向上

FY28: FY24比30%生産性向上



External DX : 受注・売上拡大

FY28: L3&L4受注/全受注 20%以上



DX能力向上

FY28:DX研修の受講率80% (レベル1/2)

50% (レベル3)



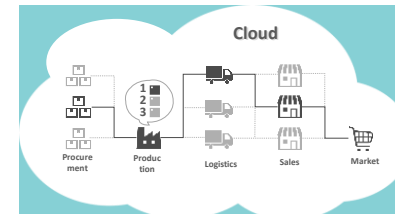
グローバル製造業の主な課題

1. 政情、マーケット、技術等の急激な変化に対応するレジリエントなSCMケーパビリティの確立

As-Is: Fixed SCM by Silo Operations



To-Be: Agile & Flexible SCM by Connected

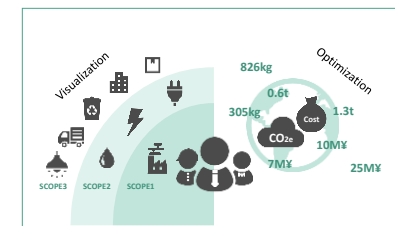


2. 経済効果と環境負荷のバランスを取ったESGマネジメントの実現

As-Is: Optimized Operation by Economic Purpose



To-Be: Optimized Operation by Economic and Environmental Impacts

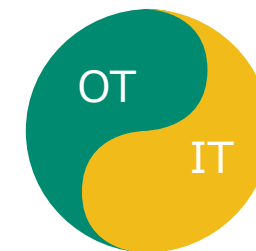


3. OT/ITの統合セキュリティ管理の確立・強化

As-Is: Separated Security Treatment b/w IT & OT



To-Be: Integrated Security Measures b/w IT & OT



External DX戦略：IA2IA/SM化に向けた製造DXの推進

制御事業 エネルギー&サステナビリティ事業/マテリアル事業/ライフ事業

現場におけるデータ測定・収集から、企業経営レベルの最適化まで、
製品、サービス、ソリューションを提供

OpreX™

OpreXはYOKOGAWAの制御事業を
包括するブランドです。

External DXビジネスを拡大する領域:

Level 3 (製造実行・管理) & Level 4 (企業経営)

Level 4
企業経営
管理レベル

Level 3
製造実行
管理レベル

生産管理
生産最適化

高度制御・
運転最適化

品質管理
品質最適化

設備
最適化

安全管理

操業リスク管理

統合情報サーバ

Yokogawa Cloud 産業用クラウド/プラットフォーム、
アプリケーション群

現在、当社が強みが発揮出来る領域:

Level 1 (データ測定・収集) & 2 (生産制御・安全システム)

Level 2
生産制御、
安全システムレベ

Level 1
データ測定・
収集レベル

IT
Information
Technology

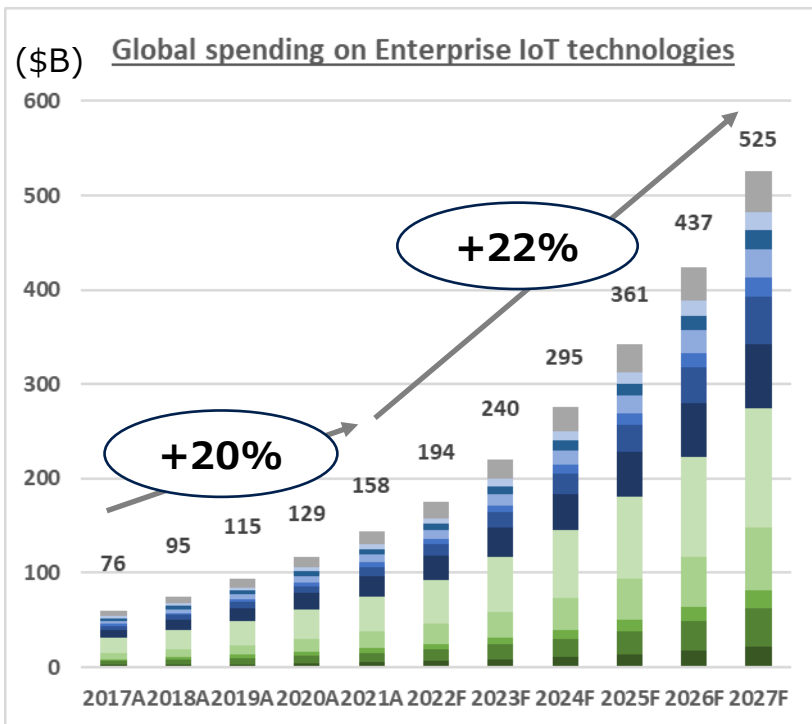
OT
Operational
Technology

Level 3/Level 4ビジネスの

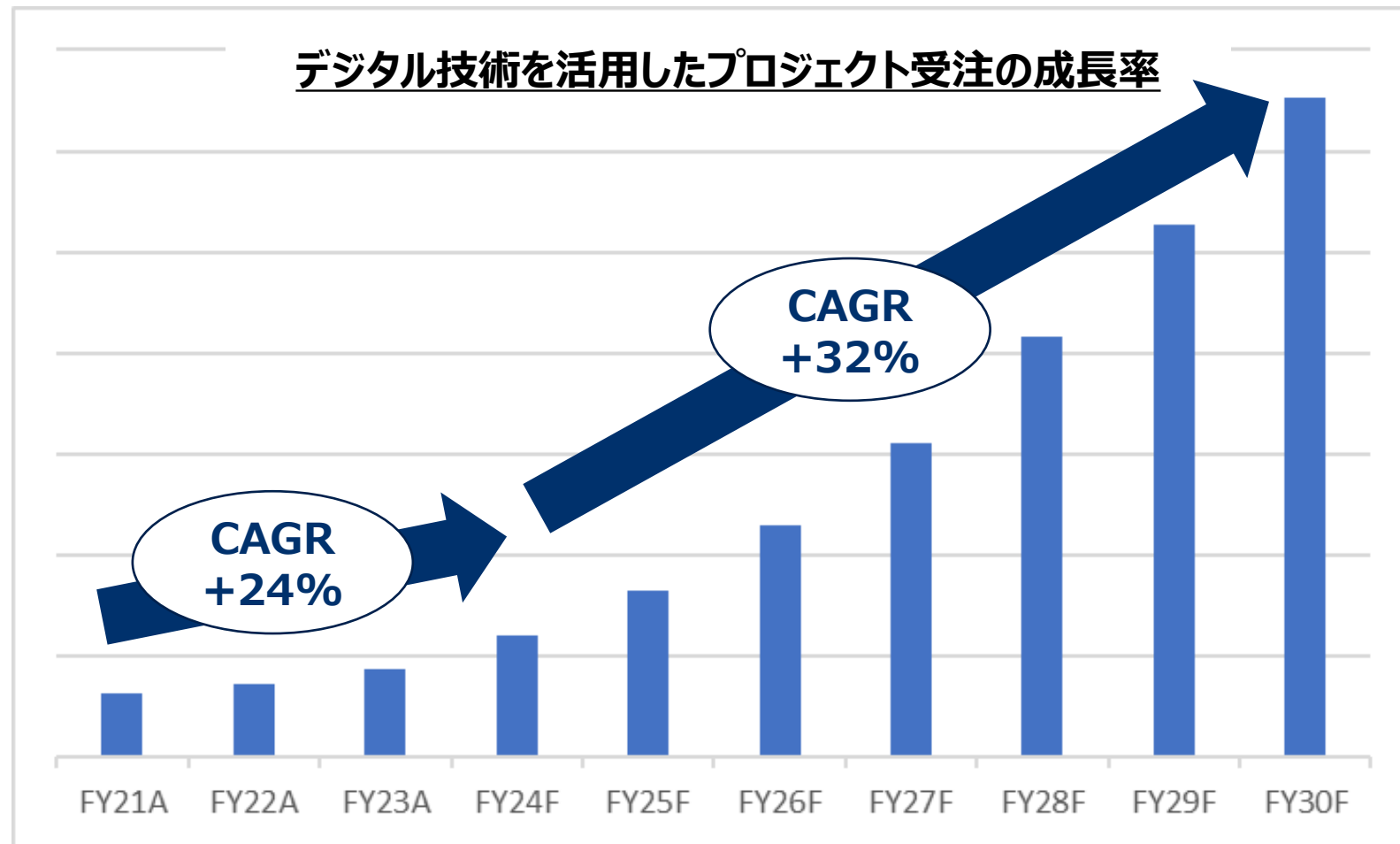
全受注に対する割合を、
現在の**10%**程度から、FY28
に**20%**程度へ引き上げる

External DXビジネスの成長イメージ

- DXの主戦場であるLevel 3/4の領域は、クラウド、IIoT、AI/ML、サイバーセキュリティ、IT/OT統合等デジタル技術で成長を加速



(出典) IOT ANALYTICSのデータをもとに作成



External DX サービス ポートフォリオ

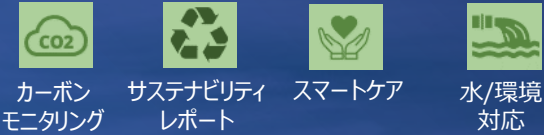


5. 付加価値サービス:

1. AIOTサービス:



3. サステナビリティサービス:



4. ERP & OT/IT統合:

2. 統合IT/OTセキュリティサービス:



Integrated Suite

*SOC: Security Operation Center

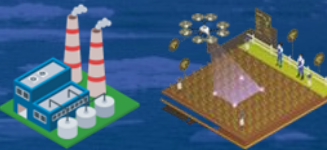
主なサービス対象領域



オイル&ガス・再生可能エネルギー・電力系統



化学・紙パ・鉄鋼・マイニング・バッテリー・電機



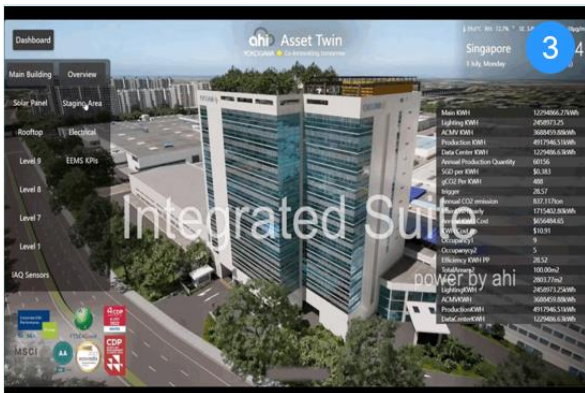
食品・医薬品・養殖・牧場



オフィス・ビル・スマートシティ 他

1.AIOTサービス：アセットデジタルツインの事例

中東の石油会社でPOC実施中



Use Case 1: OEM, Building Equipment, Plant/Factory Equipment

Use Case 2 : Construction, O&G, Full scale Plant/Factory, Mining

Use Case 3: Smart Building, Smart Infrastructure



ビジネス目標 / お客様のチャレンジ

- プラントの設備とセンサーの情報をリアルタイムで監視しながら、現場作業員と連携し業務を進めたい
- プラントライフサイクルにわたる業務改善（設計-エンジニアリング-建設-運用保守）



ソリューション

- デジタルツイン上でのプラントの監視に加え、センサーの情報をダッシュボードを通じて表示
- チャット、ファイルダウンロード、ホワイトボードなどの機能を活用したさまざまなコミュニケーションツールの提供

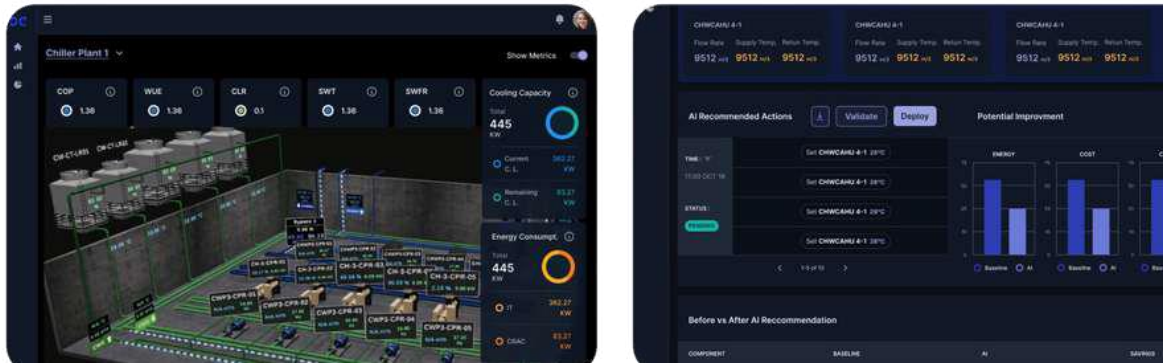


得られた成果

- シミュレーションにより、リスク低減を図り、迅速に正確な意思決定ができる
- 情報伝達の効率化
- トレーニングへの活用

1.AIOTサービス：データセンターのエネルギーモニタリングの事例

・ 東南アジアのデータセンターにサービス提供中



ビジネス目標 / お客様のチャレンジ

- ・ 当局からの電力使用量削減要求
- ・ 電気料金の高騰と利用増加



ソリューション

- ・ デジタルツインを用いAIで冷却の最適化（データホールの空気の流れ、冷却装置の効率）
- ・ データホールの熱管理（ヒートマップ）



得られた成果

- ・ データセンター設計の改善によるエネルギー効率の向上
- ・ 供給空気温度とファン速度を最適化し、効率的な冷却を行い、エネルギー消費を最小限に抑える
- ・ 温度変動と熱ストレスポイントを予測しメンテナンスを行い、資産リスクを低減

2. 統合IT/OTセキュリティサービスの事例



(アジア 石油化学)



ビジネス目標 / お客様のチャレンジ

- 複数プラントのOT資産の24時間365日の監視
- 複数のベンダのセキュリティ監視



ソリューション

- 現地拠点 (L1) と インドのSOC (L2/L3)で担当するクラウドベースのセキュリティ監視ソリューション



得られた成果

- 全30プラントの資産を24時間体制でプロアクティブに監視
- 現地での定例ミーティング等きめ細かなサポート

(日本 重工業)



ビジネス目標 / お客様のチャレンジ

- お客様のDCSや設備にアドオンするDX監視サービス
- 多様な機器の監視に対応出来る柔軟性・拡張性



ソリューション

- NTTデータ (ServiceNowのチケットシステムワークフロー) とYOKOGAWA (IT/OT SOC) の統合ソリューション



得られた成果

- NTTデータと協業し、セキュリティ監視からインシデント対応ワークフローの自動化を実現

- OpreX Carbon Footprint Tracer (2024年2月サービス提供開始) を使い、横河マニユファクチャリング (YMG) の工場で差圧・圧力伝送器 (EJX/EJA) のプロダクトカーボンフットプリントの測定を開始。順次他の製品へも展開し、各国の法規制に対応するとともに、環境負荷の少ない製品を創出する

お客様の課題

- ✓ 理論値ベースのプロダクトカーボンフットプリントから実績値ベースへの切り替えが必須
- ✓ 2026年のEU炭素国境調整メカニズム (CBAM) のペナルティを避ける (250k USD/year)

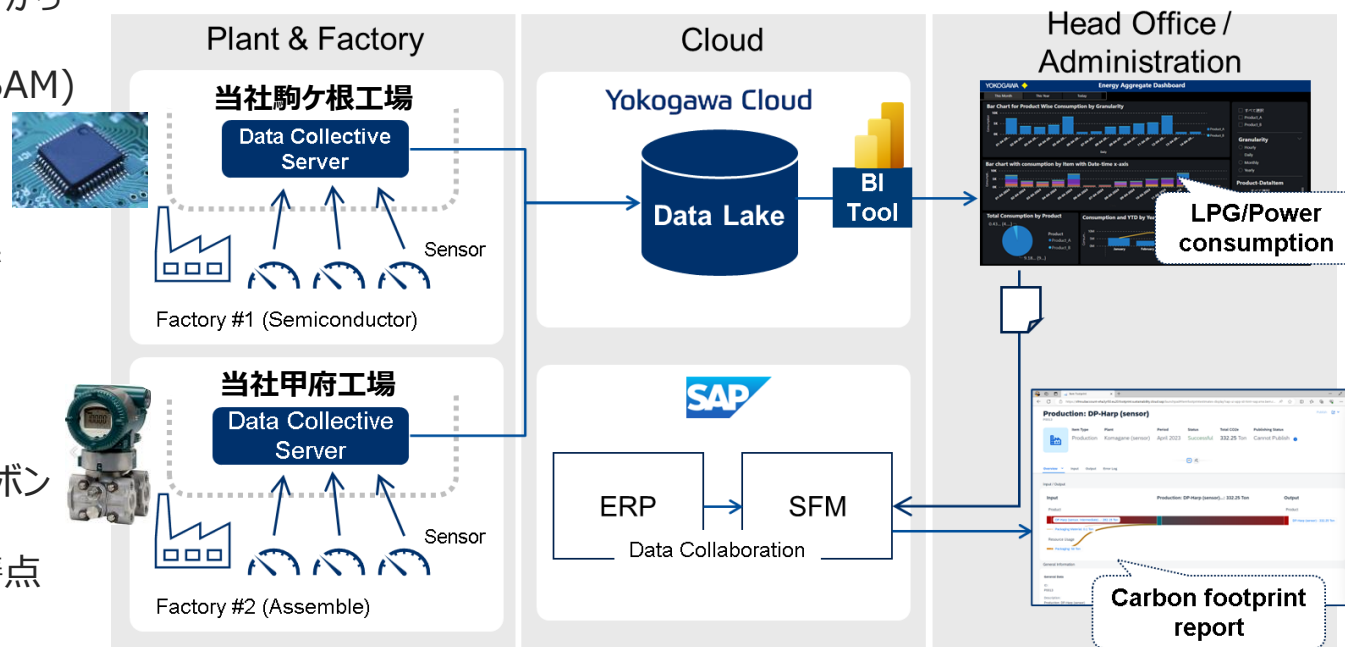
YOKOGAWAのアプローチ

- ✓ 横河のIT-OTコンバージェンスケーパビリティでLPG/電力実績値とSAPデータを連携
- ✓ 既存EMSを活用し実装コストを最小化

提供価値

- ✓ 各国や地域の法規に準拠した製品別のカーボンフットプリントを生成
- ✓ 可視化によりCO2排出量削減に向けた改善点の特定
- ✓ プロダクトカーボンフットプリントの認証取得 (ISO14067)

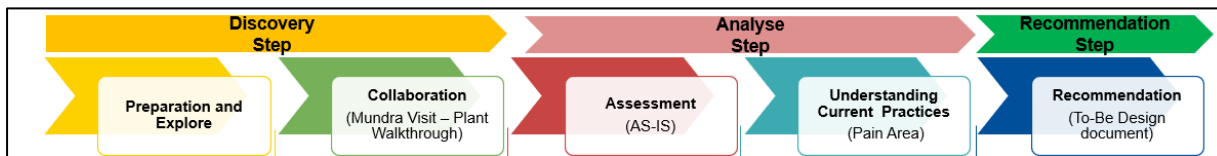
当社工場におけるPoCの概要



・ インドの高機能化学会社でプロジェクト実行中



ITとOTの知見を活かしたコンサルティングアプローチのステップ例



目的/お客様の課題

- ・ スマートファクトリーロードマップを設計、Industry4.0成熟度向上に向けたOTレイヤーとAWSクラウド、SAPとの統合環境の構築
- ・ MES、OTデータレイク及びその他のサードパーティシステムにSAPを統合し、自動化を推進
- ・ 外部リソース活用によるクラウド環境と、工場KPIモニタリング環境構築を通じた早期DX推進



YOKOGAWA横河電機が提供できるソリューション

- ・ インダストリー4.0に準じ、ITとOT分野の統合に精通した当社によるDXコンサルティングサービス
- ・ ショップフロアから経営層まで統合環境構築に向けたワンストップIT-OT統合システムのご提供
- ・ 当社の経験豊富なリソースによるクラウド環境構築サポート



お客様にとってのメリット

- ・ MESおよびOTデータレイクとSAP間の疎結合による運用効率向上
- ・ ITとOTレイヤー間のスムーズな情報統合によるKPIモニタリングおよび迅速な経営判断の実現
- ・ プロセスを自動化し、人的介入を最小化することによるトータルROIの向上

シンガポールと日本をコアに、ビジネスの展開・拡大に注力

Yokogawa Votiva Solutions (シンガポール)

シンガポールのITコンサルティング会社Votiva社を2022年にグループに迎え、東南アジア地域におけるERPビジネスを加速。シナジー効果も出始めている。

Microsoft Dynamics
エキスパート **400名以上**
導入実績 **500件以上**

最近の受注事例①

- ・ お客様： 光学レンズメーカー（シンガポール）
- ・ スcope： レガシーからクラウドバージョンへのアップグレード、サプライチェーン、生産、会計をグローバルロールアウト
- ・ YOKOGAWA選定理由： 製造業へのERP導入実績、アップグレードと複数サイトへの展開実績

最近の受注事例② ※Yokogawa (Thailand) Ltd. (タイ) による受注

- ・ お客様： 高機能フィルムメーカー（タイ）
- ・ スcope： レガシーからクラウドバージョンへのアップグレード、サプライチェーン、生産、会計
- ・ YOKOGAWA選定理由： 戦略と課題の理解度、製造業へのERP導入実績、このお客様へのDCSやセンサの納入実績

横河ソリューションサービス株式会社（日本）

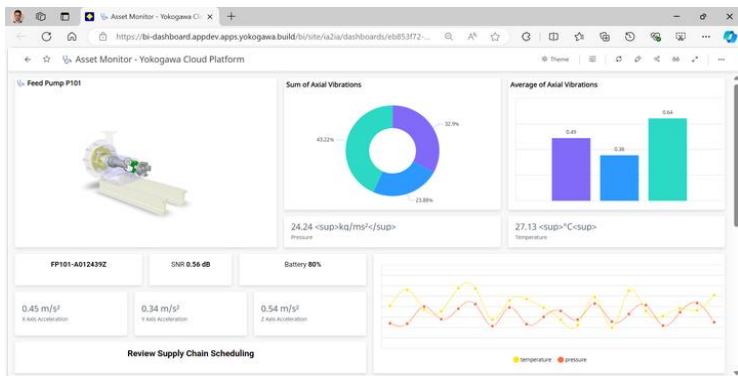
- 20年以上のERPビジネス実績（国内製造業No.1）
- 「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2024」において、「Dynamics 365 Supply Chain」を受賞（12回目）



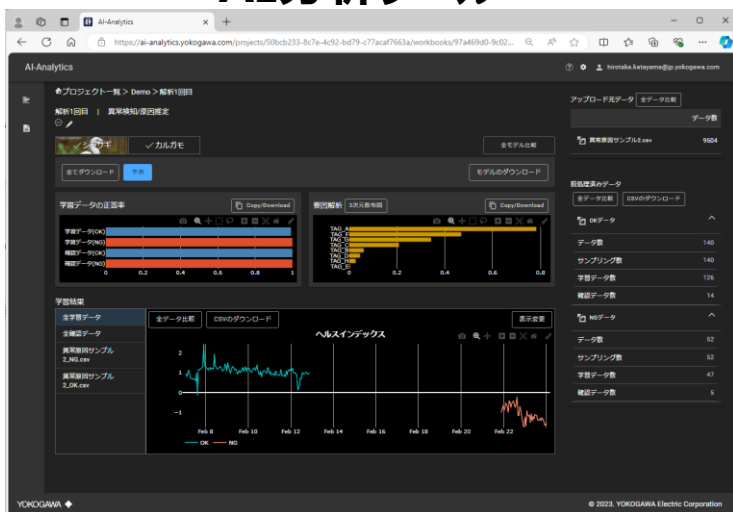
今年度もYokogawa Cloudより新しいサービスをリリース



acuity™ アップストリームオペレーションモニター



AI分析ツール



Yokogawa Cloud

OTに合わせて設計されたプラットフォーム Yokogawa Cloudから、アプリケーションサービスを提供

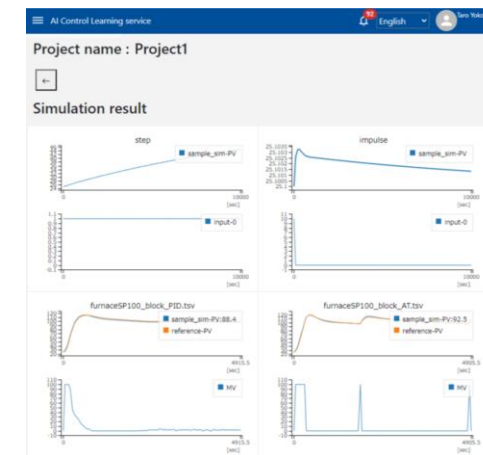
- さまざまな情報ソースからデータを収集、加工し、価値へと変換
- 分析機能とデータ可視化により、迅速な意思決定を支援
- 業界固有のアルゴリズムやモデルを提供し、アプリケーション間を統合、高度なレベルの自動化と自律化をサポート
- クラウドサービスに対する情報セキュリティに関する国際規格取得



設備品質予兆検知ツール



AI制御学習サービス

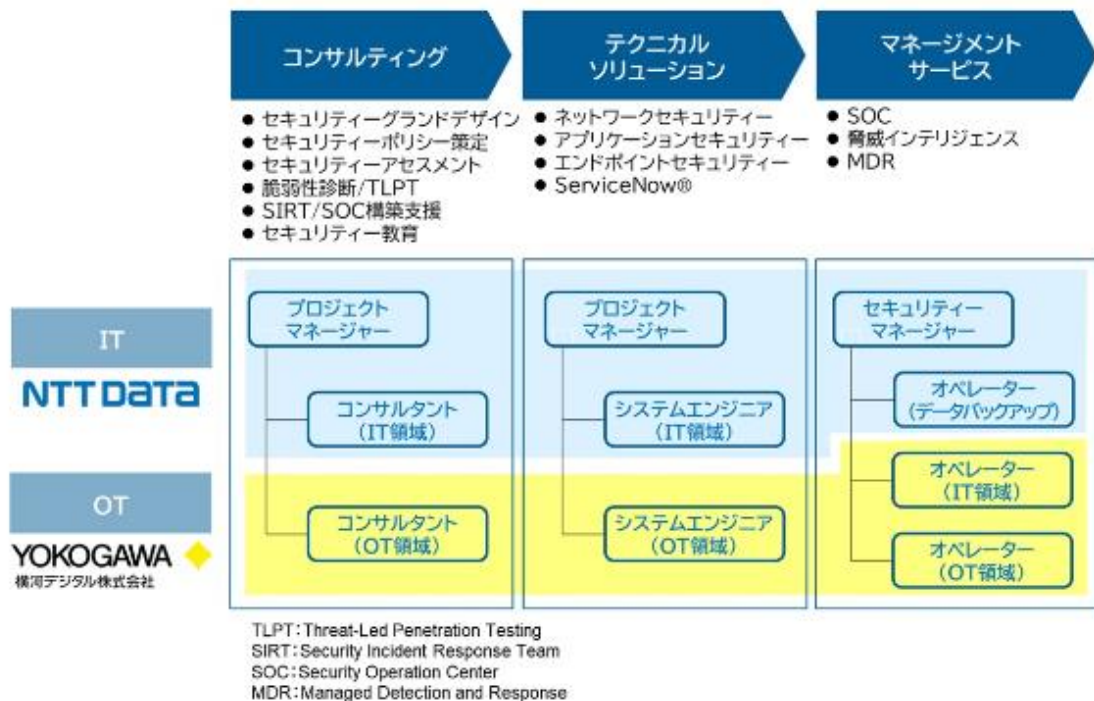


ITパートナーとの連携強化

NTTデータと横河デジタルがIT/OTセキュリティ領域において業務提携契約を締結

2024年7月29日

株式会社NTTデータ（以下、NTTデータ）と横河電機株式会社（以下、横河電機）の子会社である横河デジタル株式会社（以下、横河デジタル）は、IT/OTセキュリティ領域における業務提携契約（以下、本契約）を締結しました。OT領域に強い横河デジタルと、IT領域に強いNTTデータが連携しワンストップでサービス提供することで、製造業のお客さまのセキュリティレジリエンス強化に貢献します。



横河電機とVMO HOLDINGSが戦略的パートナーシップに関する基本合意書(MOU)を締結

VMOと横河電機株式会社 (YOKOGAWA) は、2023年12月16日、ベトナム国 ファム・ミン・チン首相の立会いの下、戦略的パートナーシップに関する基本合意書 (MOU) を締結しました。VMO Holdings の会長兼 CEO であるホアン・トゥアン・ハイ氏と、横河電機株式会社 執行役員(CIO)兼デジタル戦略本部長である船生幸宏氏が、それぞれの組織を代表してMOUに署名しました。

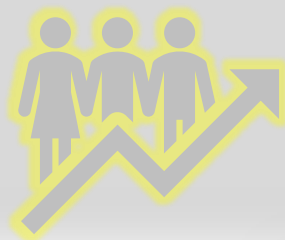


4. グローバル全社員のDX能力向上

DX戦略推進を通じて、 確実にポジティブな経営インパクトを創出していく

Internal DX : 社内生産性向上

FY28: FY24比30%生産性向上



External DX : 受注・売上拡大

FY28: L3&L4受注/全受注 20%以上



DX能力向上

FY28:DX研修の受講率80% (レベル1/2)
50% (レベル3)



グローバル全社員のデジタルスキル底上げ

DX施策概要

Internal/External DX推進を支える人材のスキル開発

✓ グローバル共通DXトレーニング体系再定義

- 強化** 既存のDXトレーニング体系を再定義し、ロール別にトレーニングコンテンツを整備
- 強化** 全社員が習得すべきデジタルリテラシー&ツール活用のトレーニングを開発・展開
- デジタル技術の専門家（DXテクノロジスト）育成トレーニングを開発・展開
- 新事業をドライブする役割を担う、プロダクトマネージャー育成の実践教育を導入
 - * プロダクトマネージャー：事業、製品・サービスの価値向上に向け、構想策定からリリース、その後の改善までのプロセスを関係者をリードしながら一貫通貫して推進する

期待されるビジネス効果

デジタル人材強化による生産性向上・ビジネスモデル変革

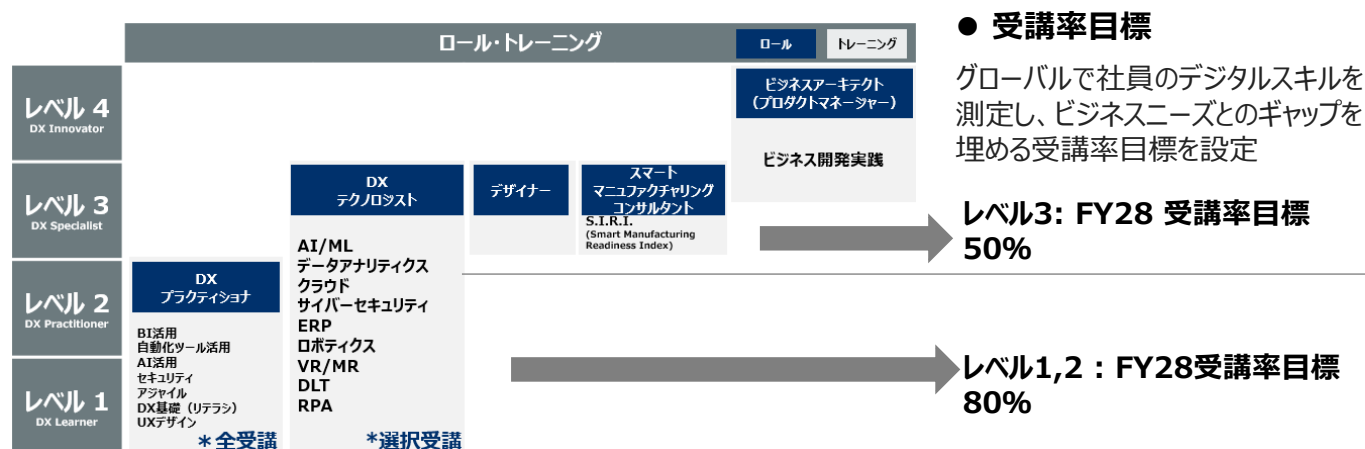
Internal DX（生産性向上）

- 従業員のデジタルスキルの底上げ

External DX（ビジネスモデル変革）

- スキルギャップの可視化+教育 ⇒ 必要なデジタル人材を確保
- 育成したプロダクトマネージャーが新規ビジネス開発のキーマンとなり変革をドライブ

現在の進捗状況・目標



● トレーニング実績

DXテクノロジスト育成トレーニング

AI、データアナリティクス、OT/IT 統合、OTセキュリティ、クラウド、アジャイル 領域の専門家育成トレーニング



受講人数：2023年（135名）、2024年（63名）

DXの最新動向を学ぶ基礎講座

AI、アジャイル、トレンド、サイバーセキュリティ、Power Platform などの講座
受講人数：2023年（1,971名）、2024年（704名）

DX戦略推進を通じて、 確実にポジティブな経営インパクトを創出していく

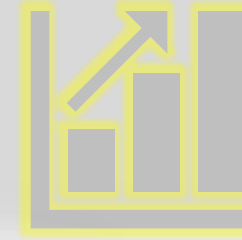
Internal DX : 社内生産性向上

FY28: FY24比30%生産性向上



External DX : 受注・売上拡大

FY28: L3&L4受注/全受注 20%以上



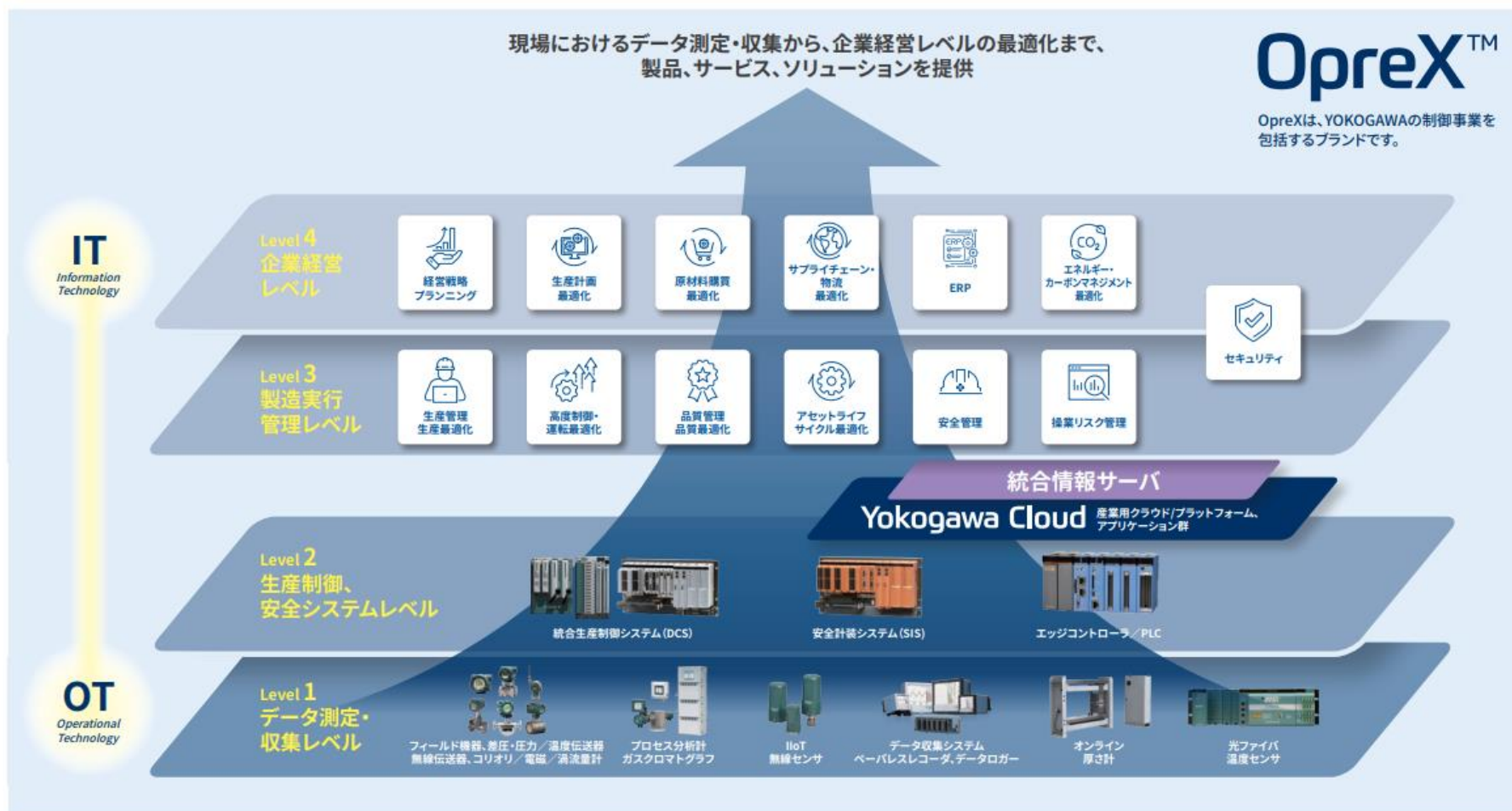
DX能力向上

FY28:DX研修の受講率80% (レベル1/2)
50% (レベル3)



ご参考/レベル別ソリューション

制御事業 エネルギー&サステナビリティ事業/マテリアル事業/ライフ事業



本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

横河電機株式会社

IR部

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

Co-innovating tomorrow™

ご清聴頂き、ありがとうございました。